

第一貨物 ホールディングス設立記念事業

# 新庄まつりでパレード

「ソーラソーラ、エコトラ さっさー」。小学生の掛け声と共に、「空色のくじら」の山車が商店街を練り歩く。八月二十六日、山形県新庄市で開かれた「新庄まつり」の最終日、第一貨物(本社・山形市、武藤幸規社長)と太平洋興業(同・東京、同)による共同持ち株会社「ディー・ディー・ホールディングス」設立記念イベントの一つ。九日間にわたる「エコトラ」(環境対応トラック)の旅は成功裏に幕を閉じた。

## 廃木材で山車づくり

(矢田 健一郎)



十八日、第一貨物東京支店を出発した廃木材を積んだ四トトラックが東京・江東区、福島市、仙台市、新庄市の小学校を巡回。各地の小学生たちが廃木材を切り、やすり掛けし、空色に塗りあげてきた「積み木」で山車を組んだ。

手製「藍染め」帯が風に舞う

二十一日、新庄まつりでの「東北三県福撰祭。強い日差しが照りつける午前一時。駅前通りの一角に、武藤社長を交えて田陣を組み立てられたのは新庄市立目新小学校の

五年生の生徒二十二人。ほとんどが、「エコトラ さっさー」の掛け声上がり、空色の山車が動き出した。淡い藍色の帯が山車の周囲を風に舞う。日新小の生徒たちが「藍」で手染めた絹の帯だ。



「空色のくじら」の山車と風に舞う「藍染め」の絹の帯

## エコトラがつなぐ「絆」

みとして捨てられるだけの廃木材が積み木に生まれ変わり山車の一部に。積み木を載せて各地を巡ったトラックもまた、天から油なら廃食油を燃料にした「バイオディーゼルの燃料(BD)トラック」だ。東京から山形県新庄市までの約六百キロの道のり。ハンドルを握ったのは本紙コラム「わが社の運転名」にも登場した第一貨物東京支店集配部隊のムードメーカー的存在、桜田元さん。終始子も

一緒に山車を引き、出店が両側に並び大勢の客でにぎわう商店街を練り歩いた。笑顔を届けたバイオ燃料車「エコ尽し」の第一貨物の今回の記念イベント。本来ご



今回「エコトラ」を運転した桜田元さん

たちのいっばいの笑顔を誘っていた。

記念イベントに参加したある女子児童は「楽しかった。特に、藍染めが。エコのことは、普段から使わない照明は消すとか意識してる。でも

子どもたちに「思い」届け！

大成功に終わった記念イベント。武藤社長は「実にいいね、子どもたちの笑顔はと



トラックと山車をバックに記念写真(最後列中央が武藤社長、その右にナビゲーター役の俳優・武田航平さん)

今回のプロジェクトをナビゲートしたのは俳優・武田航平さん。イベントの様子は十月十三日(土)午後六時から約一時間、BSフジ特番「つながる☆エコトラの旅」で放送される。

廃木材から山車を造る一連の取り組みを通して、各地の子どもたちは自分たちが一つにつながったことを感じられた。エコをきかっけにした絆づくり。被災地をはじめ各地の子どもたちが笑顔になれることも、記念イベントの願いだった。その願いはエコトラに載せて、子どもたちの元にかつと届けられた。

振り返った。「当社の場合は軽油(1)化石燃料)を使っているが、そうした企業であってもエコ(環境)について真剣に考え、活動している子どもたち(そのことが伝われば)。(武藤社長)。